

愛媛県におけるクロヒメアリの追加記録

原 有助^{1,2}・松岡基憲¹・村上 裕¹

¹愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター ²愛媛大学農学部生物有機化学研究室



写真1 *Monomorium chinense* Santschi, 1925 クロヒメアリ (BCEJ-Ent 00055). スケールバー: 0.5mm. 撮影: 原 有助.

種の記録

Formicidae アリ科

Monomorium chinense Santschi, 1925

クロヒメアリ (写真 1)

標本 3 exs., 大洲市長浜町, 28 viii 2024. 村上 裕 採集. 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター標本 (BCEJ-Ent) 00055–00057. 体長 1.4–1.5 mm.

種の特徴

標本個体は、体色が黒褐色から黒色の単色性、複眼は 10 個以上の個眼からなり、触覚は 12 節で先端 3 節は棍棒状、大あごは 5 歯、腹柄節腹縁は側方から見て弧を描き、体表面に彫刻はなく滑らかで光沢があること、腹柄節下縁突起の後の中央部で弱く凹み、後半部で下方に弧状に弱く突出することから、本種と同一した (寺山ほか, 2014; 寺山, 2020).

備考

本種は熱帯アジア原産の人為的移入種で、国内では本州、四国、九州および南西諸島で確認されており、南西諸島においてはほぼ全域に分布している (寺山ほか, 2014; 寺山, 2020). 東京都では 2015 年に侵入後、急速に分布を広げている可能性が高いと考えられており、それらの地域で家屋害虫化が懸念されている (寺山, 2020). 本種は愛媛県ではこれまでに松山市 (日下泉, 船入泉, 松山総合公園, 松山城, 松山港) と今治市 (今治港) で確認されており (重信川ビオトープネットワーク研究会編, 2000; 近藤・山本, 2016; 久末, 2018; 久末ほか, 2019; 寺山, 2020), このたび

大洲市にて新たに確認されたので記録する. 今回の確認環境は、住宅街の植栽箇所と階段であった.

謝辞

本報告にあたり、調査時にお世話になった長浜ふれあい会館の皆様には厚く御礼申し上げます.

引用文献

- 久末 遊. 2018. 松山城山公園のアリ相. ARI, 39:18–36.
久末 遊・久松定智・村上 裕. 2019. 愛媛県で2017年にヒメアリモニタリング調査と情報提供によって確認された外来アリ類. 衛生動物, 70 (4):235–238.
近藤正樹・山本栄治. 2016. 松山総合公園で2014年に採集したアリ類. しこくこげら, 17:55–57.
重信川ビオトープネットワーク研究会 (編). 2000. 重信川ビオトープネットワーク調査報告書. (データ集:12. 陸生昆虫類等). (社) 四国建設弘済会, 香川. 300–357.
寺山 守. 2020. 港湾部で発見されたヒメアリ類の分類と検索. (<https://terayama.jimdofree.com/app/download/13700668590/港湾のヒメアリ類検索表%282020%29.pdf?t=1730530112>, 2025 年 2 月 5 日参照).
寺山 守・久保田敏・江口克之. 2014. 日本産アリ類図鑑. 朝倉書店, 東京. 336pp.

(2025 年 3 月 26 日受付, 2025 年 3 月 31 日公開)

連絡先: 原 有助 (e-mail: hara-yusuke@pref.ehime.lg.jp)
(Yusuke Hara, Motonori Matsuoka and Hiroshi Murakami. 2025. Additional record of *Monomorium chinense* (Formicidae) in Ehime Prefecture, Japan. NS Fieldnote, 25004)